

平成25年11月15日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証JASDAQ市場)
問合せ先 執行役員 横山 幸弘
(TEL 03 - 6225 - 2207)

「Group Lease PCL. は今第3四半期に峠を超える」

～ファイナンス事業子会社プレスリリースより～

当社の連結子会社で東南アジアにおいてファイナンス事業を展開するGroup Lease PCL. (以下、GL) は、同社の第3四半期決算を発表、投資家向けにタイ語及び英語でニュースリリースを発表しております。下記に日本語にてご紹介いたします。

記

【GL プレスリリース : GL Turns the Corner in Q3(Final) より】

SET上場のオートバイリース会社Group Lease Company Limited (GL) は、本日 (2013年11月14日)、第3四半期 (2013年9月期) の大幅な利益減少を発表したが、GL経営陣は今四半期で悪い状況が終了し、今後は利益が著しく拡大すると自信を見せています。

第3四半期の売上高は、GLの特長である積極的な営業展開を背景に、前年同期比48.69%増の3億8,990万バーツ (約12億3,598万円) へと増加した。しかし、純利益は、前年同期比56.92%減で1億590万バーツ (約3億3,570万円) から4,560万バーツ (1億4,455万円) へと減少した。今期これまでの9ヶ月間累計における売上高は、10億8千万バーツ (約34億2,360万円) (57.49%増) と増加し、純利益は2億2700万バーツ (約7億1,959万円) (9.32%減) となりました。

GL会長兼最高経営責任者の此下益司氏は、第3四半期における業績低調を下記のように説明しました。「顧客の支払遅延に対し貸倒引当金計上を大きくした。また、担保回収したオートバイの価値を想定以上に低く評価した。しかし、これらは一般的な景気低迷、政情不安や中央地域の洪水による結果です」。

本日 (2013年11月14日) GLがSETに提出した財務諸表において、貸倒引当金は前年同期の859万バーツ (約2,723万円) から9,620万バーツ (約3億495万円) に増加した。この貸倒引当金の大幅な増加は、以下の3点が要因となっている。

1. 昨年からの継続的かつ積極的なポートフォリオの拡大
2. 昨年があまりにも低水準であったこと
3. 2012年末に実施した保守的な貸倒引当金基準への変更

GL経営陣は、第4四半期及び来年の見通しは有望であることから、今第3四半期の利益減少を気にしていないと話す。売上高は、大幅に増加し続けており、全体の市場状況も回復が始まっている。第3四半期に計上した大規模な引当金は、今後遅延している売掛金の支払いが戻れば一部利益として取り戻せる。

今後の収益性を大きく左右するもう一つの要因は、カンボジアにおける事業である。「カンボ

ジア事業の全ての設立費が第3四半期に連結し計上された。第4四半期において、損益分岐点に到達し、来年以降カンボジア事業から利益が発生する」と此下氏は説明する。

オートバイリース事業以外では、先日発表したSiam Kubota Corporationとの契約締結によりクボタ社の農業機械販売におけるファイナンスを展開する他、大規模なマイクロファイナンス会社の買収交渉を進めている。カンボジアは、その力強い成長潜在力により数年後にはタイの市場規模まで成長すると期待している。

以 上

※外貨換算額は参考のため2013年11月14日の為替レートで換算し表示しております。

※ニュースリリースの原文はG L社ウェブサイト (<http://www.grouplease.co.th/investor/>) でご確認いただけます。